

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	35	介護保険会計	事業コード	37531
事業名	在宅医療・介護連携推進費					
評価担当課	所 属	保)高齢保健福 介護保険課			電話番号	011-211-2547
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	● 一部委託	○ 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	平成27年度から市町村の実情に応じ、在宅医療・介護連携推進事業が開始され、国から8つの事業の実施を義務付けられたが、令和3年には介護保険法施行規則等が改正され、8つの事業を踏まえつつ、市町村が地域のあるべき姿を意識しながら主体的に課題解決が図れるよう、また地域の実情に応じ、取り組み内容の充実を図りつつPDCAサイクルに沿った取組を進められるよう事業選択が可能となった。 本市では国が示す事業の要素を1つあるいは複数を含めた取組を実施しているが、在宅医療と介護の連携に関して市としての現状と課題を整理し、PDCAサイクルに沿って事業の見直し・検討を行っていく必要がある。					
	事業内容 (何を実施し)	①地域の医療・介護の資源の把握として活用可能な札幌市地域包括ケアマップの普及:札幌市公式ホームページ上の「札幌市地域包括ケアマップ」や「認知症サポート医名簿」を定期的に更新した。 ②在宅医療従事者と介護従事者が互いの業務を理解するための意見交換会の実施:札幌市医師会に委託し多職種が互いの業務を理解するための意見交換会を実施(10区:参加者計665人) ③札幌市地域ケア推進会議における在宅医療・介護連携体制の構築 ④在宅医療・介護連携手帳の作成・活用:札幌市医師会に委託し医療・介護従事者が情報を共有するための「在宅医療・介護連携手帳」を配布(75冊) ⑤在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置:札幌市医師会に委託し在宅医療・介護連携に関する相談対応を実施(228件)、在宅医療・認知症医療等に関する調査・分析を実施 ⑥在宅医療・介護連携に関する市民向け普及・啓発:市民への普及啓発のため、札幌市医師会に委託し市民向けシンポジウムを実施(10区:参加者計1179人) ⑦在宅医療・介護従事者の連携を推進するための研修の実施:特別養護老人ホームの施設長を対象に、医師による認知症や虐待防止に係る研修会を実施、介護従事者向けに若年性認知症を理解するための研修会を実施					
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	重度の介護を必要とする高齢者が、在宅生活を希望した場合に、それが実現可能となるよう、医療と介護の関係職種等の連携体制を整備する。					
	他都市の状況	介護保険法第115条45包括的支援事業として、市町村に在宅医療・介護連携推進事業の開始が義務付けられている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
令和4年度決算額	14,300 千円	うち特定財源	14,300 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和5年度予算額	16,373 千円	うち特定財源	16,373 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和5年度決算額	15,000 千円	うち特定財源	15,000 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和6年度予算額	16,373 千円	うち特定財源	16,373 千円	正規職員業務量	1 人工		
指標	アウトプット 活動指標1	医療・介護従事者等による意見交換会に参加した職種数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		16職種	16職種	16職種	16職種	16職種	16職種
	↓						
	アウトカム 成果指標1	医療と介護の連携ができていると回答した者の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		69%	71%	82%	73%	75%	77%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度は活動指標、成果指標ともに達成できているため、今後も引き続き医療と介護の連携の推進に向けた取組を推進していく。					
	アウトプット 活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
アウトカム 成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	現状維持とし、引き続き在宅医療・介護連携に関する相談窓口の周知及び多職種向けの意見交換会や市民向け普及・啓発を進めていく。						